



# FC今治サッカー専用ホームスタジアム

## 有形無形の波及効果を期待

2017年9月のありがとうサービス・夢スタジアムでのホーム初戦から5年。このたび、新たな航海へと出航する今治里山スタジアムのご竣工を迎えて戴きましたことを、心よりお祝い申し上げます。

この日を迎えたことは、岡田武史オーナーはじめとするFC今治関係者の皆さま、多くのファンやサポーター、並びに工事関係の方々の熱い想いと努力のたまものであると深く敬意を表します。

この約5000席を備えたスタジアムは、365日、多様な人々が集まり、にぎわい、心の豊かさに包まれた空間を生み出すことをコンセプトに、地域や自然環境と調和・連携し、循環しながら成長・伸び、何世代にも渡って地域の人々に愛される。今までにないサッカースタジアムを目指すと伺っております。

本スタジアムの完成をきっかけとし、新しい風が今治市内全域へと広がり、有形無形の波及効果がもたらされることを期待しております。

最後に、FC今治、そしてこのプロジェクトに携わったすべての方々のご多幸と発展を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉をいたします。

# 今治里山スタジアム 完成

## 民間によるJ1対応スタジアム建設初挑戦

の豊かさを大切にする社会づくりに貢献する」という企業理念を体現する、最初から作りこみ過ぎるのではなく段階的に整備する、次世代の文化交流の拠点とする、建設費用を極力抑えほしいなど、当方は無理難題ばかりを申し上げましたが、設計会社、施工会社の皆さまが力をあわせていたいで完成した奇跡のスタジアムです。

いよいよ運用段階に入りました。365日のにぎわいを創ってまいります。スタジアムと地域をつなぐ公共交通サービス実験を開始し、健康事業としてランニングイベントも始めました。4月下旬には、ドッグランを設置し、カフェもオープンします。サッカーの試合がない日でも

365日にぎわうとして計画された施設を実際に開業した。長い間建設が手掛けた、四国地方の木々が集まるところに、まさに「里山」が完成した。



株式会社今治・夢スポーツ  
代表取締役社長  
矢野 将文

夢、勇気、希望、感動をもたらす「今治・夢・スタジアム」



## 施工のポイント



### 持続的成長を実現する施設を

りんかい日産建設・四国通建JV  
現場代理人  
菱野 智之

ろな人々の集うインクルーシブな心豊かな空間をつくる事。サッカーフィールドの周りに「里山」をコンセプトとした空間づくり。食事や運動、リラックスタцииができるような場、更に学びの場をつくり、ここを拠点として、町を元気にするためのコミュニティ事業を開拓したいと話されました。とはいって、民設民営のためコストも重要な協議を統括した結果、生まれたのは「成長する施設」。本プロジェクトのみで全てを完成させる箱もの的な建設計画にせず、施設の未来にフレキシブルな対応ができるよう、ひとつひとつつくりあげていくことになりました。チームとしても、JFLからJ3、J2、J1へと昇格することごとに、必要要素を満たすための施設。例えば座席数などを階層する施工をチームの成長と共に建設していく。特に里山エリアも同様に、しかもチームを応援する皆さまと共に活動する細やワーカークラブ等が初期施設として計画されました。施工期間中に市民の方々による段々細の石積が行なわれました。コミュニケーションと一緒に何をつくつか、が施設内容に直結されていました。

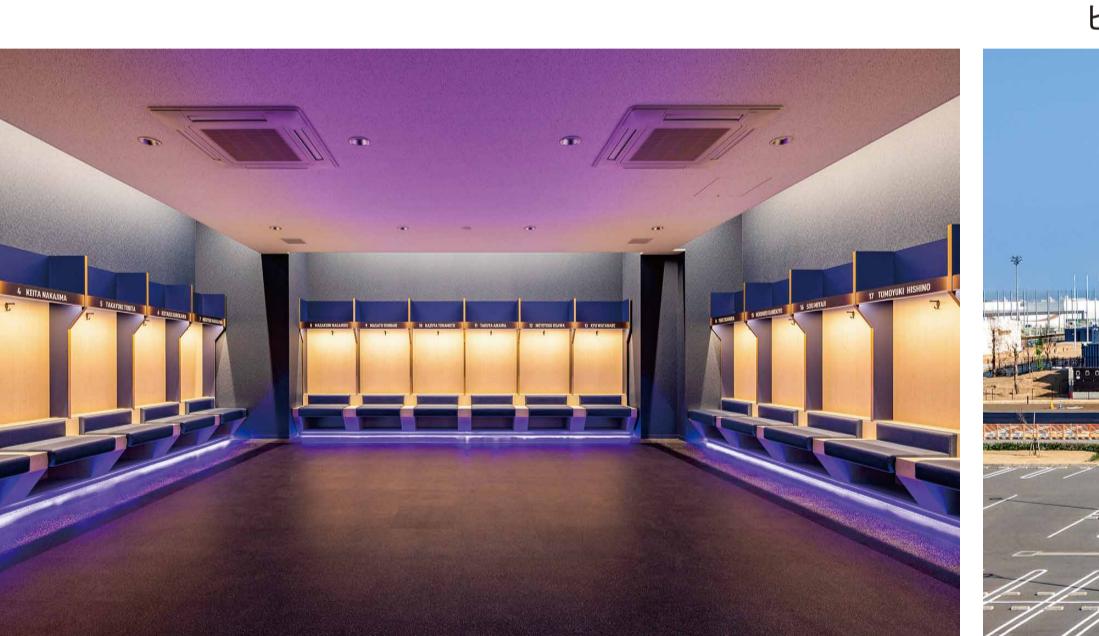
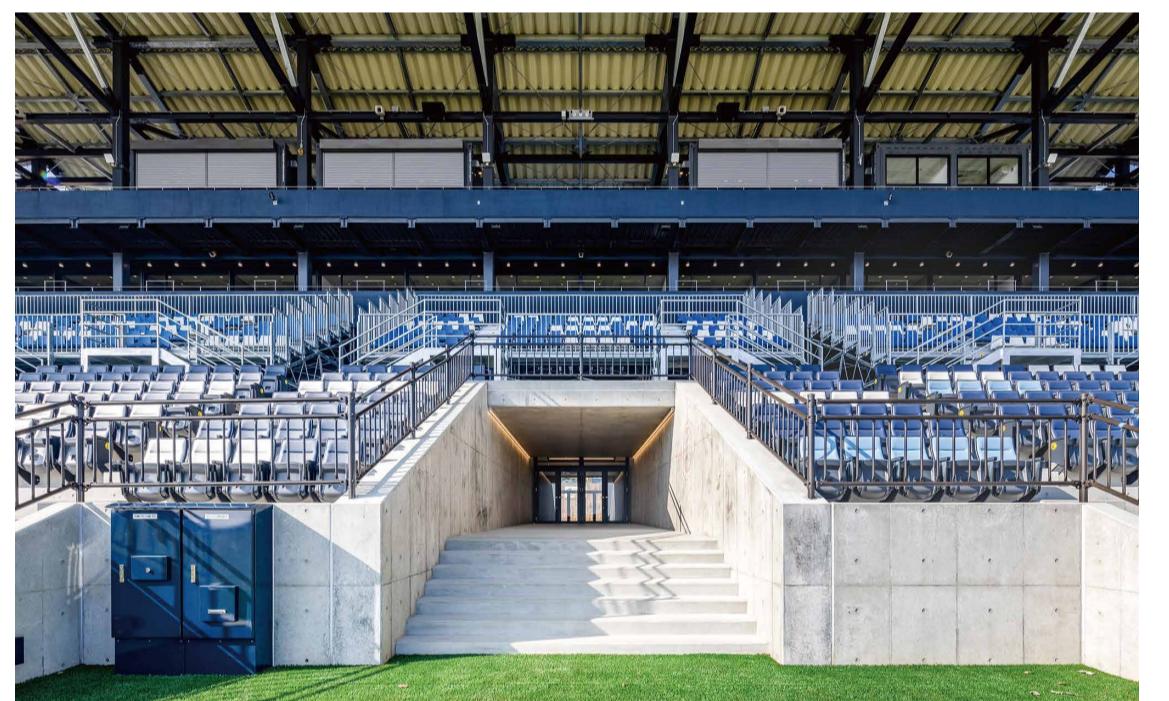
### クラブ活動の一環で現場見学ツアー

クラブの活動の一環として、施工中の現場の見学ツアーが実施されました。見学開始当初はアドバイザリーポードの方々やパートナー企業の方々をご案内しました。FC今治の皆さまが今後企画している活動の説明を現地で行ながら、施設の説明をしましたが、パートナー企業様の施設への関わり合い方が私たちにはとても新鮮で、新設される施設などのような配慮が必要か悩もうし、異業種の皆さまと一緒に見交すなかで、私たちも多くのものを学びました。その後一般の方々にもスタジアムツアーを提供することになり、ホーム戦が行われる毎日を中心として、練習や選手と一緒に行くなどのさまざまな企画で見学していただきました。

毎週ドローンで現場の様子の撮影を行い、その映像はお客様のホームページにアップされ、一般的の方々にリアルタイムでスタジアムの建設状況を見ていたいともありました。気を使う部分も多かったのですが、安全管理を理由に閉鎖した一般的な施工現場が、このように開かれて理解しあう作業でもあったと思います。地域の皆さまにより徐々に成長していく施設の今後が楽しみです。

### 人々が集う心豊かな空間づくり

今治の新都市内、開発された丘から今治の町としまなみの海を一望できる場所に、お客様の要望は、スタジアムアリーナと同様、いろいろ



## 設計コンセプト

心のよどごとして、人・まちをつなぐ里山  
FC今治の「日本初の民設民営のサッカー専用ホームスタジアム」です。里山のように人と自然の関わりを育みながら、誰もがまた来たくなるまちづくりの拠点、また日常的に人が集い、365日にぎわう交流の拠点として、人・まちをつなぎ、インクルーシブな社会を実現する開かれた里山を形成しました。

### 多様性を生む余白で、成長する里山

日常的に誰もが気軽に立ち寄り、ランニングや散策が可能なプロムナード、多世代が自由に過ごせるプラザ、交流拠点「きとなる」など、地域の人々と共に育みながら成長する里山を形成しています。また可変性ある施設構成として、余白を生かしながらJ1へとチームが成長するように、周辺とスタジアムの段階的な整備を可能としました。

## 365日にぎわう 「里山スタジアム」



株式会社梓設計  
専務執行役員  
スポーツ・エンターテインメント部門長  
永廣 正邦

地域に根差した 環境にやさしい里山  
しまなみの景色を一望できるグラウンドや、造船の町今治にふさわしいコンセプトを活用した今治らしい施設としています。また汎用性・属性ある鉄骨ユニットスタンドや、ゼロタッチシートを構成する鋸削機による土盛りスタンドや、太陽光・雨水・緑縁など自然の力を生かした持続可能な環境にやさしい里山を形成しました。

■工事名称: 今治・夢ビレッジ里山スタジアム整備工事
■工事場所: 愛媛県今治市高橋ふれあいの丘1番3,4
■発注者: 株式会社今治夢ビレッジ
■入場可能数: 5,316人
■敷地面積: 約57,000m <sup>2</sup>
■建築面積: 約7,000m <sup>2</sup>
■主要設備: クラブハウス(3階4階建て)
■観客席: メインスタンプ約2,600席、サウンドスタンプ約1,400席、パブクスタンプ約1,100席、3階VIPルーム約200席
■設計監理: 株式会社梓設計
■ラントスケープデザイン協力: 高野ラントスケーププランニング株式会社
■施工: いんかい日産建設・四国通建特定建設工事共同企業体
■工期: 2021年11月1日～2023年3月31日

\*写真提供/りんかい日産建設



外観全景

## 設計監理



### 梓設計

東京都大田区羽田旭町10-11 電話 03-5735-3210

## 施工

### りんかい日産建設

東京都港区芝2-3-8 電話 03-5476-1705

## りんかい日産建設・四国通建特定建設工事共同企業体

### 四国通建

愛媛県今治市南大門町1-1-15 電話 0898-32-5555

### NEC ネッツエスアイ

東京都港区芝浦3-9-14 電話 03-4212-1000

## コミュニケーションサービス・オーケストレーター

## コミュニケーションサービス・オーケストレーター

## 工事概要

## 工事

## 土建

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

## 外装

## 機械

## 電気

## 暖房

## 給排水

## ガス

## 空調

## 衛生

## 構造

## 機械

## 内装

</